



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月31日

上場会社名 新日本無線株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6911 URL http://www.njr.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 良
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 須藤 雅教 TEL 03-5642-8222
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	20,413	10.7	926	99.7	906	181.1	1,221	306.8
25年3月期第2四半期	18,444	△13.8	463	—	322	—	300	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,256百万円 (500.3%) 25年3月期第2四半期 209百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	31.21	—
25年3月期第2四半期	7.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	36,215	5,778	16.0	147.71
25年3月期	35,634	4,521	12.7	115.58

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 5,778百万円 25年3月期 4,521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	15.3	2,500	70.1	2,400	31.1	2,500	45.2	63.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	39,131,000株	25年3月期	39,131,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	8,133株	25年3月期	8,133株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	39,122,867株	25年3月期2Q	39,123,142株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等は「添付資料」3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）におきましては、国内経済は持ち直しつつあると見られておりますが、エレクトロニクス業界では、底打ちへの期待はあるものの、国内の民生機器市場の低迷、中国の景気減速等もあり力強さに欠ける状況で推移いたしました。

このような環境下、当社グループでは主力の半導体をはじめ、全ての報告セグメントにおいて売上が前年同期間と比べ増加し、さらに「低成長下でも利益を創出できる経営基盤の確立」を方針とした事業構造改革の成果により収益構造が改善されたため、営業利益が大幅に増加いたしました。また、今後の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、当第2四半期連結会計期間末の繰延税金資産は前期末と比較して367百万円増加し、当第2四半期連結累計期間では法人税等調整額△419百万円を計上いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

売上高	20,413百万円	（前年同期間比 10.7%増）
営業利益	926百万円	（前年同期間比 99.7%増）
経常利益	906百万円	（前年同期間比 181.1%増）
四半期純利益	1,221百万円	（前年同期間比 306.8%増）

セグメント情報については次のとおりであります。なお、営業損益は各セグメントに配賦していない調整額731百万円控除前の営業損益であります。

(マイクロ波管・周辺機器)

官公需・電子管では大型電子管の売上が増加、また、民需・電子管では国内外とも電子管やレーダーコンポーネント等の売上が増加いたしました。

この結果、前年同期間と比べ売上高、営業利益とも好調に推移いたしました。

売上高	1,421百万円	（前年同期間比 26.9%増）
営業利益	234百万円	（前年同期間比 84.9%増）

(マイクロ波応用製品)

地上通信用コンポーネント製品は低迷いたしました。また、主力の衛星通信用コンポーネント製品やセンサーコンポーネント製品の販売が大幅に増加いたしました。

この結果、前年同期間と比べ売上高、営業利益とも好調に推移いたしました。

売上高	1,533百万円	（前年同期間比 15.0%増）
営業利益	190百万円	（前年同期間比 154.3%増）

(半導体)

主力のオペアンプや電源用IC等の売上は、ほぼ前年同期間並に留まりましたが、受託生産販売がやや回復、Wi-Fiモジュール等向けのマイクロ波デバイス（GaAs IC）の売上が増加、さらにスマートフォン等向けにMEMSも順調な売上となりました。

この結果、前年同期間と比べ売上高、営業利益とも増加いたしました。

売上高	17,458百万円	（前年同期間比 9.2%増）
営業利益	1,233百万円	（前年同期間比 26.8%増）

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末(平成25年9月30日)の資産合計は、商品及び製品、仕掛品などの減少はあったものの、現金及び預金、受取手形及び売掛金、繰延税金資産などの増加により前年度末比581百万円増加して36,215百万円となりました。負債合計は、1年内返済予定の長期借入金の減少などにより前年度末比675百万円減少して30,437百万円となりました。この結果、純資産合計は、前年度末比1,256百万円増加して5,778百万円となり、自己資本比率は前年度末比3.3ポイント上昇して16.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前年度末比322百万円増加(前年同期間は66百万円の減少)して826百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の各キャッシュ・フローの状況については次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益が902百万円(前年同期間は313百万円)となり、減価償却費1,045百万円(前年同期間は808百万円)、退職給付引当金の減少額△153百万円(前年同期間は減少額△1,267百万円)、売上債権の増加額△294百万円(前年同期間は増加額△112百万円)、たな卸資産の減少額538百万円(前年同期間は増加額△166百万円)、仕入債務の減少額△262百万円(前年同期間は増加額66百万円)などを調整した結果、営業活動では1,705百万円の資金の増加(前年同期間は1,639百万円の資金の減少)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出額が△1,014百万円(前年同期間の支出△1,332百万円)となったことなどから、投資活動では1,030百万円の資金の減少(前年同期間は1,350百万円の資金の減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の返済による支出額が△787百万円(前年同期間の支出△772百万円)となったことなどから、財務活動では385百万円の資金の減少(前年同期間は2,940百万円の資金の増加)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年10月24日公表の「業績予想の修正及び繰延税金資産の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、事業構造改革の成果により収益構造が改善されたこと及び今後の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、当第2四半期連結会計期間末の繰延税金資産は前期末と比較して367百万円増加し、当第2四半期連結累計期間では法人税等調整額△419百万円を計上いたしました。この結果、通期の当期純利益が、期初の業績予想を上回る見込みとなりました。

今後の市況や業績動向等の変化により修正が必要と判断された場合には速やかに開示することといたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	503	826
受取手形及び売掛金	9,866	10,177
商品及び製品	4,340	3,928
仕掛品	6,561	6,321
原材料及び貯蔵品	2,518	2,610
繰延税金資産	25	383
その他	380	465
流動資産合計	24,197	24,713
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,572	25,733
減価償却累計額	△20,446	△20,583
建物及び構築物（純額）	5,126	5,149
機械装置及び運搬具	62,396	61,404
減価償却累計額	△58,822	△57,887
機械装置及び運搬具（純額）	3,573	3,517
工具、器具及び備品	12,048	11,747
減価償却累計額	△11,000	△10,763
工具、器具及び備品（純額）	1,048	984
その他	768	689
有形固定資産合計	10,516	10,340
無形固定資産		
投資その他の資産	139	132
投資有価証券	310	353
繰延税金資産	52	61
その他	488	617
貸倒引当金	△70	△1
投資その他の資産合計	781	1,030
固定資産合計	11,437	11,502
資産合計	35,634	36,215

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,949	3,657
短期借入金	9,564	9,999
1年内返済予定の長期借入金	7,703	7,010
未払法人税等	85	127
繰延税金負債	41	—
役員賞与引当金	16	5
その他	3,635	3,661
流動負債合計	24,994	24,462
固定負債		
長期借入金	282	187
繰延税金負債	81	85
退職給付引当金	5,244	5,090
環境対策引当金	19	19
資産除去債務	53	53
その他	437	538
固定負債合計	6,118	5,974
負債合計	31,112	30,437
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,220	5,220
資本剰余金	5,223	5,223
利益剰余金	△5,426	△4,205
自己株式	△3	△3
株主資本合計	5,013	6,234
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103	131
為替換算調整勘定	△595	△587
その他の包括利益累計額合計	△491	△455
純資産合計	4,521	5,778
負債純資産合計	35,634	36,215

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	18,444	20,413
売上原価	15,157	16,328
売上総利益	3,286	4,085
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,145	1,303
退職給付引当金繰入額	100	86
開発研究費	549	637
その他	1,027	1,131
販売費及び一般管理費合計	2,822	3,158
営業利益	463	926
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	2
為替差益	—	39
屑売却益	53	47
雇用調整助成金	32	—
その他	20	20
営業外収益合計	110	110
営業外費用		
支払利息	114	97
為替差損	117	—
シンジケートローン手数料	14	12
その他	4	19
営業外費用合計	251	129
経常利益	322	906
特別利益		
固定資産売却益	10	1
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	10	1
特別損失		
固定資産除却損	3	5
固定資産売却損	0	—
投資有価証券評価損	16	0
特別損失合計	20	5
税金等調整前四半期純利益	313	902
法人税、住民税及び事業税	48	101
法人税等調整額	△35	△419
法人税等合計	12	△318
少数株主損益調整前四半期純利益	300	1,221
少数株主利益	—	—
四半期純利益	300	1,221

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	300	1,221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	27
為替換算調整勘定	△74	7
その他の包括利益合計	△90	35
四半期包括利益	209	1,256
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	209	1,256
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	313	902
減価償却費	808	1,045
固定資産除却損	3	5
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△72
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,267	△153
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△0	—
受取利息及び受取配当金	△2	△2
支払利息	114	97
シンジケートローン手数料	14	12
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△0
為替差損益(△は益)	3	21
売上債権の増減額(△は増加)	△112	△294
たな卸資産の増減額(△は増加)	△166	538
仕入債務の増減額(△は減少)	66	△262
その他	△519	21
小計	△746	1,858
利息及び配当金の受取額	2	2
利息の支払額	△115	△99
事業構造改善費用の支払額	△936	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	156	△56
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,639	1,705
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,332	△1,014
有形固定資産の売却による収入	17	1
資産除去債務の履行による支出	△6	—
無形固定資産の取得による支出	△22	△15
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	—	0
貸付けによる支出	△7	—
貸付金の回収による収入	0	0
その他の支出	△2	△5
その他の収入	4	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,350	△1,030
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,725	415
長期借入金の返済による支出	△772	△787
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△0	—
その他	△12	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,940	△385
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16	33
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△66	322
現金及び現金同等物の期首残高	608	503
現金及び現金同等物の四半期末残高	542	826

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	マイクロ波 管・周辺機器	マイクロ波 応用製品	半導体			
売上高						
外部顧客への売上高	1,119	1,333	15,991	18,444	—	18,444
セグメント利益	126	74	972	1,174	△710	463

(注) 1 セグメント利益の調整額の金額△710百万円は、報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計とセグメント利益の調整額との合計が、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	マイクロ波 管・周辺機器	マイクロ波 応用製品	半導体			
売上高						
外部顧客への売上高	1,421	1,533	17,458	20,413	—	20,413
セグメント利益	234	190	1,233	1,658	△731	926

(注) 1 セグメント利益の調整額の金額△731百万円は、報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計とセグメント利益の調整額との合計が、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

以上